

2024年度 園の自己評価について

令和7年3月27日
わくわくの森保育園

1.保育方針と保育目標

<保育方針>

- ・情緒の安定した生活を送ることが出来る環境(人的・物的)を用意する。
- ・保育園の役割と機能が適切に発揮されるように専門的な知識及び判断を持って保育に携わる。
- ・健康と安全(生命の保持)を基本に養育の補完及び教育を行う。
- ・保育に関する相談や要望を受け止め、地域や保護者との協力体制を築く。

<保育目標>

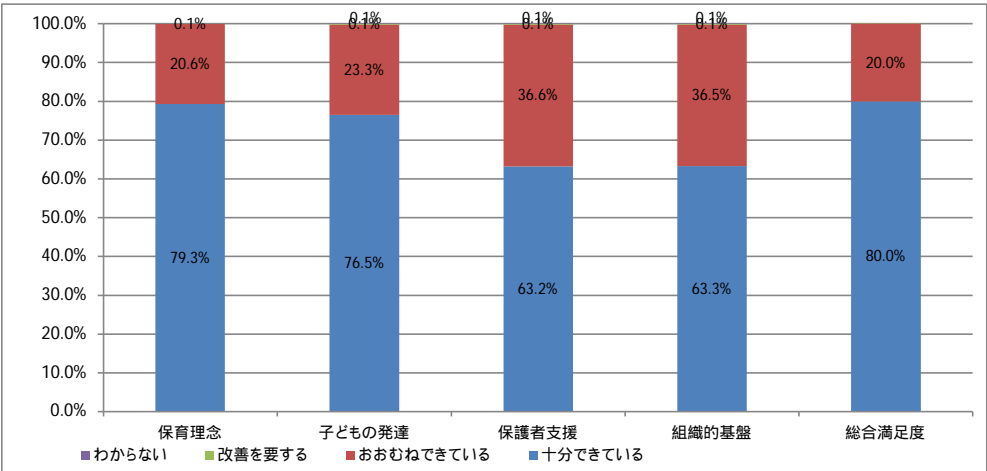
- ・わたしの森(自発性をはぐくむ保育)
- ・みんなの森(人と関わる力の育つ保育)
- ・個性の森(子どもの主体性が尊重される保育)
- ・見守りの森(チーム保育、異年齢保育)
- ・よこびの森(ありのままを受容する保育)

2. 自己評価結果(4点満点)

評価項目	保育理念	子どもの発達援助	保護者支援	保育を支える組織的基盤
平均点数	2.98	3.23	3.01	2.74

- *保育理念： 子どもの人権を尊重し、子どもがお互いを尊重する心を育むような取り組み
児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮
保育方針、保育目標の共通理解
- *子どもの発達援助： 子どもが自己選択、自己決定、自己活動できる環境・異年齢の関わりを育む環境
全職員での子どもの発達の理解
発達の順序性や連続性を踏まえた保育計画、実践・養護と教育の一体化等
- *保護者支援： 子どもの成長発達の共有・専門性を活かした支援
関係機関との連携、地域の子育て支援等
- *保育を支える組織的基盤： 快適で健康に過ごせる環境、職員の資質向上、法令の順守等

3. 保護者アンケート集計結果(回収率 72%)



4. 次年度の取り組み

次年度は環境整備として雨水タンクを交換、新設をして、子どもたちの水遊びでの利用や災害、緊急時の水の確保をします。園舎内は壁紙をクリーニングして室内環境を美化します。

感染症の状況は、少数であっても掲示板などで速やかにお伝えしていきます。

毎日の様子に加え、懇談会・保育参加・面談などを通じ、お子さんの成長や他児との関わりなど、保護者の皆さまとのコミュニケーションを図る場を大切にしていきます。